

各委員が新年度予算を質す

ただ
3月
9~10日

令和5年度の町づくりに使われる一般会計、5つの特別会計・水道会計を合わせた7会計の各予算について審査する特別委員会を設置して審議した。

委員長に大場洋介委員、副委員長には柴田清正委員を互選し、各委員（委員長を除く）が目標の基金総額を確保できたことで守勢から攻勢へ舵を切り、今後必要な事業に効果的に投資するため、前年度比4億円増となった一般会計予算を含む総額62億円余りの各予算の重点項目や現状課題への対応を質した。

結果、一般会計予算に栗田保則委員が反対した以外は、全員賛成で各会計予算を可決した。



大場洋介 予算特別委員長

金山校の魅力化事業は

星川 智子 委員

問 専属のコーディネーターを置いた成果は。また、これから取り組む地域みらい留学制度に数年前から可能性を感じながらも採用が遅れたのはなぜか。受け入れ態勢は。

結果的にもっと早く取り組んでいればよかったという思いもある。留学生の保護者が安心してできる受け入れ態勢構築に向け動いている。その他の質問
○育英会奨学金返還窓口について
○八幡公園女子トイレ改修工事について
○診療所リハビリの利用状況は

答 教育長 4年度県外募集に踏み切ったが応募はなかった。昨年の入学者は15名で、今年の受験者は8名。最上校では20名でこの差を深刻に受け止めている。留学制度については認識不足な点があり、

公務員にも育英会奨学金返還免除制度の適用を

中村 忠行 委員

問 令和5年度から制度の要綱が変わるが、免除の対象に公務員を除くことが疑問である。公務員には国・県の公務員も含まれるし、また公務員を対象にすることで町職員のレベルが上がりが町民にとっても有益だと考えるが。

答 教学課長 医療職不足解消の為の制度設計だったが、今後は金山に戻り就業してもらう施策として職種を公務員を除き限定しないこととした。過去、金山に戻った奨学生の公務員の率が高く、公務員以外の方に戻ってもらいたいという願いから進めてきた。

町長 地場賃金では公務員が高いレベルであることを考慮している。今後の検討材料とした。

その他の質問
○DX化推進事業の展開は
○町の施策に政策顧問の情報活用を

金山町育英会奨学生募集

対象者	町内に住所を有する者の子弟であって、学校教育法に規定する4年制大学、短期大学および専門学校に在学、または進学し、成績優秀（高校の評点：3、5以上）、品行方正な者。
貸与額	①4年制大学 4万円/月、②短大・専門学校等 3万円/月 ※上記は令和4年度貸与額であり、変更になる場合があります。 ※奨学金は、年4期に分けて返済します。 (4月、7月、10月、1月予定)
貸与期間	在学する大学・短大・専門学校等の最短修業年限の経過後まで
返還の免除	以下の2点のいずれも満たした場合に、貸与した奨学金の半額が返還免除となります ①大学等（大学・大学院・短大・専門学校）卒業後1年以内に金山町に住民票を移動し、5年以上継続して居住すること ②公務員以外の職業（勤務地は町外可）に5年以上継続して就労すること ※令和5年4月入学者分より制度が変更となりました。 現在奨学生として大学等に在学中の皆さんは、入学（認定）時の制度が適用されます。
申込方法	下記の書類を提出して下さい。 ①連帯保証人（保護者含む2名）を付した「奨学生願書」 ②卒業（予定）高等学校長の証明する「奨学生推薦書」 ③連帯保証人（保護者含む2名）の「納税証明書（金税目）」 ④連帯保証人（保護者含む2名）の「所得証明書」 ⑤大学等の合格通知書（または在学証明書）の写し ※①、②は金山町育英会事務局（中央公民館内）で入手 ※③、④は役場町民課窓口で取得 【注意】連帯保証人（保護者以外）は、特別の理由がある場合を除き、本町に住所を有する独立の生計を営む成年の方とします。
募集期間	一次募集：令和5年2月3日（金）～令和5年2月28日（火） 二次募集：令和5年3月1日（水）～令和5年3月24日（金） 奨学生は、書類審査と保護者同伴面接を経て決定します。
奨学生の決定	○保護者同伴面接実施日時と会場 募集区分 日程 会場 一次募集 令和5年3月 5日（日） 役場2階 町民ホール 二次募集 令和5年3月 28日（火） 役場2階 町民ホール ※面接後、奨学金の返済手続き等の説明を行いますので、必ず出席してください。
提出先および問合せ先	金山町育英会事務局（中央公民館・改館センター内）ℓ32-0075 【受付時間】月～金 8:30～17:00 ※祝日除く

山形県に就職を考えている学生の皆さんへ
令和4年度やまがた就職促進奨学金返還支援事業【やまがた若者定着枠】

奨学金返還支援事業の応募者を募集します!

募集人数 230名
募集期間 令和4年5月27日(金)～6月30日(木)
応募先 大学等を卒業後に定住予定の市町村

山形県における将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するため、県と県内市町村が連携して、奨学金の返還支援事業を実施します。

対象者 大学院、大学、高等専門学校、短大、専門学校
産業技術短期大学校、職業能力開発専門学校に在学する
対象奨学金 日本学生支援機構第一種奨学金、第二種奨学金、
県内市町村の奨学金

支援額 2万6千円×令和4年4月以降に奨学金の貸与を受けた月数
(4年制大学の場合の最大支援額 12万4千8百円)



※返還支援後さらに2年間、県内居住・就業を継続する必要があります。

県または定住を希望する市町村へお問い合わせください。詳細については画面もご覧ください。

●山形県 産業創造振興課 (地域産業振興担当)
TEL 023-630-2691 県HP
●各市町村の担当窓口一覧
●各市町村対象奨学金一覧

育英会奨学生募集要項

答 環境整備課長 多年草を中心として、まず大堰公園などに触れやすい所から始め、最終的に各家庭の玄関までつなげたという考えで、花の愛好者やボ



山崎地区内の植栽

フラワーコネクション事業は町民運動になりえるか

沼澤 道也 委員

問 花をどこにどのよう植えるのか。花できれいな街並みをつくるという運動の考え、仕掛けはあるのか。景観施策はやはり住宅にこだわりたいと思うが、今までの景観施策がどのように変化するのか。

ランテアなど多くの人を巻き込む構想だ。金山住宅の建築が減り、町民の景観に対する意識が薄くなっている課題を身近に感じる事業から取り組みたい考えである。
その他の質問
○適時適育事業の減額の理由は